

雑感

今週末は、事業（イベント）と今、しておかなくてはならない仕事があり、忙しかった。
この文章も日曜日の夜に書いています。まとまりのない文章だが、考えていることを書きます。

○体験活動

新学習指導要領に体験活動の重視が明記された。従来から重視されてきたが、カリキュラム・マネジメントにより、実質的な取り組みが求められている。

大変よいことだと思う。これだけ、情報があるにもかかわらず、何も知らない子供（大人）が多いのである。頭でっかちにならず、やってみる、試してみることを学校教育、特に授業の中で取り組んでいきたいものだ。

○学力を表出しにしない学力向上

学力向上が最重要課題のような状況である。しかし、十分に知識が定着しないまま、活用問題に取り組むのではないかという不安がある。

小学校新学習指導要領に、キャリア教育が明記された。単なる進路指導ではなく、社会や職業で、学びが活かされていること、算数・国語というような教科の枠組みだけではなく、様々な教科が大切に役に立っていることを自然な形で意識され、自主的に学ぶ子供を育てたい。

そのために、先生、親をはじめ大人が、いろいろなことを知っていて、子供に知的な刺激を与えるようにしなくてはならないのだろう。

「勉強しなさい」が出てこない学力向上を試してみたいものだ。

○地域の活動

先週、社会体育大会があった。

我が町会は、44世帯あるが、ほとんど高齢者世帯である。しかし、40～50歳代が頑張って、全種目に参加している。今年は、22町会中9位であった。（昨年も9位、おとしはなんと2位）

今年は、夏休みから、大学生、高校生、中学生など、町内会活動にあまり参加していない世代に声かけし、何人かが参加してくれた。我が町会としては画期的なことである。そして、小学生に対しては、現在も行っている毎日のラジオ体操やバーベキュー大会、ボランティア活動などで、大人が小学生にかまってくれてきた。小学生はとても楽しいようだ。

このような取り組みで、大人との信頼関係や自分の存在感が形成され、何人かは、この場所に定住してもらえたらと考えている。

たいしたことではないが、最近考えていたことを書いてもいたのである。